

「液化石油ガス安全高度化計画2030」 の取組状況について（関係事業者等）



2023年3月15日
ガス警報器工業会

<ガス警報器の設置の促進：LPガス事業者への支援と全国LPガス協会・七液協等との連携>

ガス警報器工業会では、ガス警報器の普及促進に向けて、LPガス販売事業者、関係機関((一社)全国LPガス協会(以下「全L協」)、都道府県LPガス協会(以下「県協」)等)、一般消費者等に対し、ガス警報器の有効性や専門情報の紹介、広報媒体の提供、感謝状の授与等の支援・連携活動を積極的に実施している。

令和3年度は、前年7月の福島県郡山市ガス爆発事故を受け、業務用施設のガス警報器とガスメータとの連動(以下「メータ連動」)の普及促進を強化した。

※LPガス警報器設置率 76.3%→**76.8%**(令和2年度末時点→**令和3年度末時点**、以下同じ。)

業務用換気警報器設置率 53.2%→**55.3%**

業務用厨房メータ連動率 68.1%→**70.8%**(出典)全L協「燃焼器具交換・安全機器普及状況等調査報告書」より。

令和4年度は、メータ連動の普及促進強化を継続するとともに、リメイク運動10周年記念事業、外国語版広報媒体の整備等を行った。

<以下、令和4年度の具体的な取組内容>

■ 県協・七液協等が行う保安講習会等へ講師派遣を行い、有効性を周知【大幅増】

- ・3年度：7件【県協】石川県4、富山県、京都府、【近液協】大阪府
- ・4年度：46件【県協】北海道14、宮城県、山形県9、新潟県12、三重県、富山県(*)、福井県、滋賀県、佐賀県2
【東北液協】宮城県、岩手県、【中国液協】WEB(*)、【九液協】福岡県(*) ※(*)3件は5年3月実施予定。

※一般消費者向けに、住宅防火協議会、女性防火クラブの他、新たに全国消費相談員協会、広島県地域女性団体連絡協議会で説明。

■ 広報媒体の製作・配付・利用促進

・4年度は、ポスター、パンフレット、冊子等の広報媒体を製作・増刷した(2022年度ポスター4.3万枚、業務用換気警報器パンフ1万枚、メータ連動警報器パンフ12万枚、「奏功事例」2.5万部、「2022年度お客様の声」0.5万部、設置マニュアル0.7万部等)。

これらを、関係機関(ポスター配布615団体等)、保安講習会等で配布、また「国際福祉機器展(10/5~7、東京ビックサイト、会場来場者約9万人、ブース来場者約2千人)」でブース設置し一般消費者等へ配布した。更に、ホームページに掲示し利用促進した。



■ リメイク運動(LPガス警報器の設置・交換運動)表彰制度等【10周年記念事業】

<リメイク運動10周年パンフ、技術史(1次改訂)>

・2012年度から、全L協、LPガス安全委員会等の協力を得て、「LPガス消費者保安推進大会」において上位県協へ感謝状授与を開始。リメイク運動10周年を機に、4年度から新たに「業務用施設のSB(EB)メータとガス警報器との連動率」部門を表彰対象に追加した。

・また、4年度は、特別表彰受賞の2県協(大分県協、新潟県協)両会長と当工業会会長との3機関合同座談会を行い業界紙に掲載、更に、リメイク運動10周年パンフ、10年ぶり改訂の「技術史(第1次改訂版)」、ノベルティ等を作成し、関係機関等へ配布した。

■ ホームページ刷新【大幅刷新】

・4年度は、一般消費者等への広報強化等に向けて、ホームページを大幅刷新【5年4月運用開始予定】。

■ 外国語版の広報媒体の整備【新規】

・4年度は、①ガス警報器工業会ご案内(日英併記)パンフ更新【4年10月完成】、②設置マニュアル(英語版)新規作成【5年2月完成】、③ホームページの多言語化(英語、中国語、韓国語)新規作成【5年4月運用開始予定】により、外国人向けの広報基盤を整備した。

LPガス安全高度化計画

CO中毒 事故防止対策

業務用施設等に対する
安全意識の向上のための
周知・啓発

業務用換気警報器
CO警報器の設置促進

安全型機器及び
設備の開発普及

ガスの漏えいによる 爆発または火災 事故防止対策

安全な消費機器等の
普及促進

安全な消費機器等の
普及促進

周知等による
保安意識の向上

誤開放防止対策
の推進

ガス警報器の機能の高度
化及び設置の促進等

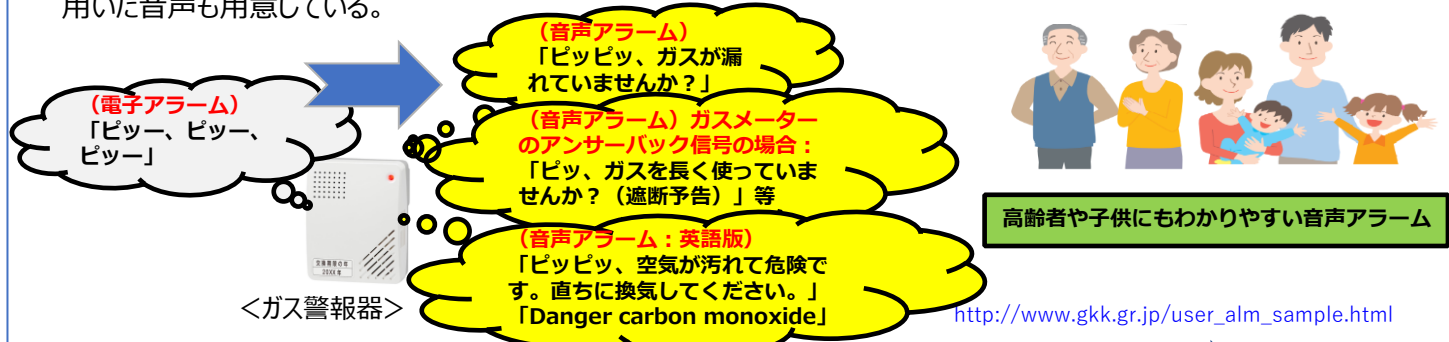
(以下、略)

<ガス警報器の機能の高度化>

ガス警報器工業会は、メーカー等の関係事業者によるガス警報器の付加価値の向上や電池式警報器の開発などガス警報器の機能の高度化を支援します。

→令和4年度も、引き続き、以下の取組支援を継続した。

①ガス警報器の警報は、ホームページ等を活用して、消費者がわかりやすいように、電子アラーム（ブザー）から音声アラームへの採用を啓発している。また、業務用厨房等向けとして、外国人労働者にもわかるように、外国語（英語、中国語）を用いた音声も用意している。



スマホからQRコードにアクセスすると、ガス警報器工業会ホームページ掲載の警報音の代表例を聞くことができます。

②業務用換気警報器では、警報履歴の記録機能を搭載し、現場のガス機器使用環境の把握等に役立っている。

③ガス警報器とガスメーターの連動遮断を促進するため、警報器に内蔵または外付け出来る製品も販売されている。



④電池式警報器の開発は、停電時の安全確保のため必要な製品であり、省電力化や低コスト化などの課題を克服するため、メーカーにて実用化を目指して開発中です。

L P ガス安全高度化計画

ガスの漏えいによる爆発または火災事故防止対策

安全な消費機器等の普及促進

周知等による保安意識の向上

誤開放防止対策の推進

ガス警報器の機能の高度化及び設置の促進等

消費設備調査の高度化

リコール製品等への対応

<スマート保安の推進>

L P ガス安全高度化計画

スマート保安の推進

スマートメーター・
集中監視等を利用した
保安の高度化

その他のスマート保安
に関するアクションプラン

・次世代の高速大容量通信仕様として、ガスメーターの通信規格であるUバス及びUバスエア（無線）が一部事業者で検討されてきた。

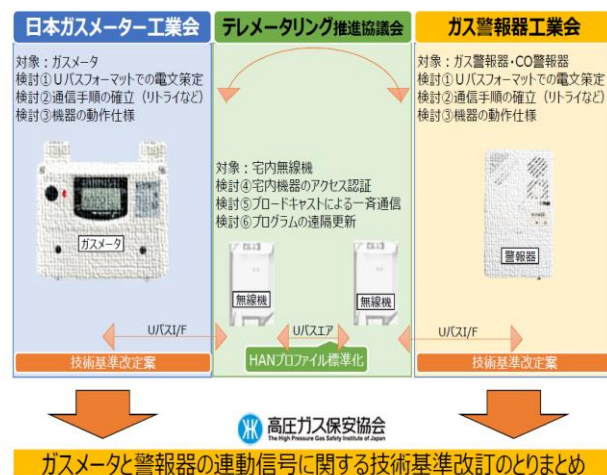
ガス警報器工業会では、令和3年度からガスメーターとガス警報器の通信システムに、業界でこれを採用するべく発足した「Uバス仕様三者検討会」（テレメータリング推進協議会、日本ガスメーター工業会、当工業会）に参加をして検討中です。

・ガス警報器としては、無線ネットワークに組み込むことで、メータとガス警報器の連動率向上に伴いガス事故の低減が期待される。例えば、警報器のプラグ抜けが生じた場合の対応を従前以上に確実に迅速に展開したり、また、メータ連動時のガス警報器からの音声応答（警報器アンサ）の充実による保安レベル向上、サービス向上を検討していくことが考えられる。

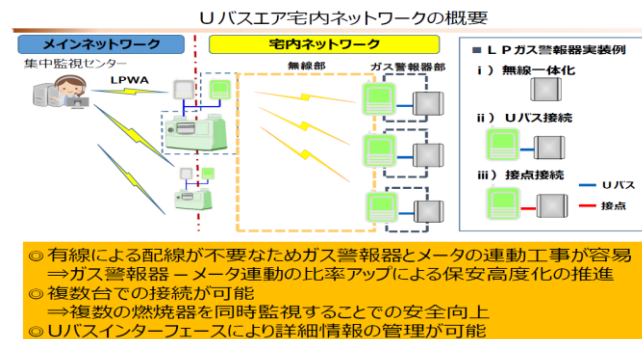
令和4年度は、これまでにガス警報器メーカー別のI Dルールを特定したところであり、今後「Uバス警報器インターフェース仕様書(案)」を作成した上で、上記検討会を開催して標準仕様書の整備を目指している。

・さらに今後、ガス警報器を活用した、IoTによるガス燃焼機器等との連携や集中監視システムを活用など、技術の実用化に併せて、適宜、標準仕様書を整備し規程改正等の整備も求められる。

Uバス無線連動仕様の検討スキーム（案）



（出所）Uバス仕様三者検討会資料より



参考：ガスメータと警報器の連動機能

